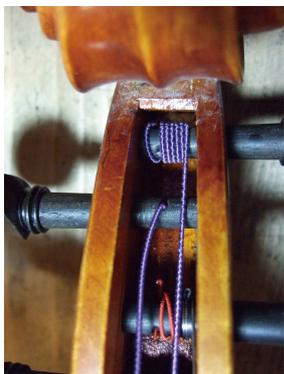
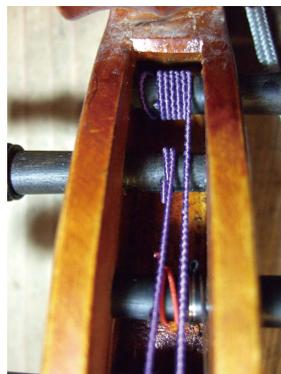


弦楽器の基礎知識

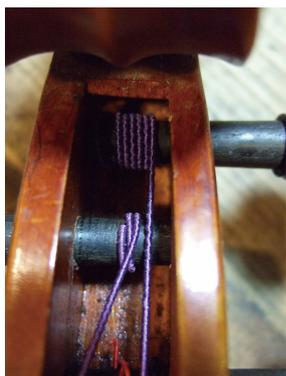
ペグの巻き方



1) ペグの穴に弦を差し込みます。
D線を参照



2) 穴より先の部位に 2-3 周程ほど巻きます。
(穴の位置次第で臨機応変に)
弦が壁に接触しないように。



3) ぐるりと、巻始めの弦の上にかぶせるように交差させます。
そうすることにより
弦が抜けにくくなります。



4) 巻き終わりがペグ Box の壁際に来るように。
ペグがゆるみにくくなります。ただし絶対に
弦が壁に押しつけられないように。
弦が切れたり、ペグが回りにくくなります。

ペグが、ぎしぎしして止まりにくい時はペグコンポジションを塗ることにより円滑に動くようになります。無理に強く押し込むとペグの形が変形します。そうなればペグコンポジションを使っても滑って止まらなくなります。その場合はペグの削り直しが必要になります。
調弦の際はペグの回し方、圧力のかけ方にコツがあります。音程が正しくあったときペグの押し込み加減(ペグの堅さ)がちょうど良くなるように押し込む力を加減しながら回します。ペグの調子が良いことも重要ですが、無理な使い方は楽器にも良くないので注意が必要です。